

山代町元気なまちづくり基本計画



浦ノ崎駅の桜並木

人がいきいきと輝く
幸せ実感のまち 山代町

令和6年3月

山代町元気なまちづくり運営協議会

はじめに

山代町は、伊万里市の西端に位置し、伊万里湾を隔てて東に牧島町・黒川町、北に長崎県福島町に対し、東山代町、長崎県今福町に接している。西に国見山系からのびた西の嶽連山が控える風光明媚な自然の美しい町です。

「山代」の呼称は、平安時代の末に松浦党の二代目源直が、「山ノ寺」をひらき、里に館を構えた時からと伝えられています。江戸時代には、「山代郷」と呼ばれていました。

山代郷は、郡区町村編成施行により明治12年(1879)年に西松浦郡に属することになり、明治22年(1889)に「東山代村」と「西山代村」に分かれ、さらに、昭和11年(1936)に町制を敷き「山代町」となりました。昭和29年(1954)には、2町7ヶ村の町村合併で伊万里市山代町となりました。

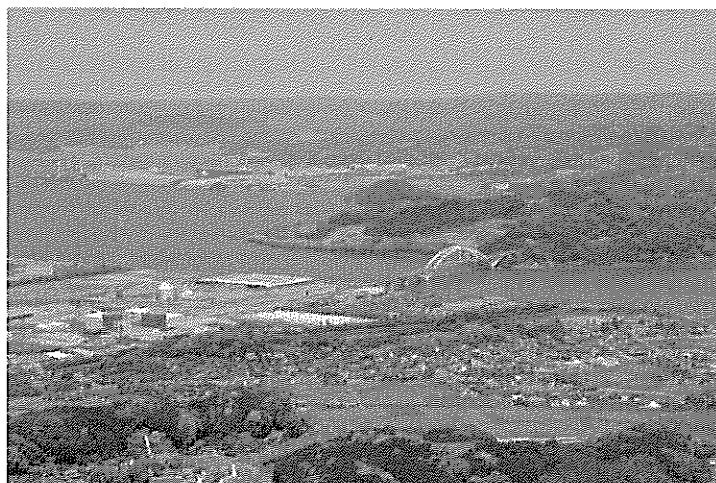
町内には、松浦佐代姫にちなんだ伝説や松浦党の山代氏に関係のある地名や遺跡が数多く残っています。

江戸時代になると、佐賀藩と小城藩の御船屋が設けられ、久原には、小城藩の目代屋敷や番所が設けられました。江戸時代の後期から昭和にかけて、町内各所に炭鉱が開かれ、戦時中は川南造船所がありました。

現在は、久原工業団地に配電盤や変圧器の電機関連会社等、伊万里団地に魚類加工業や食品総合業、住宅資材・木材製造業、電気・シリコンウェーハ製造業等が進出し、雇用の場を創出し、山代町の活性化に貢献していただいております。

一方、環境整備では、現在、測量や用地確保が進められている西九州自動車道の早期実現は、企業誘致とともに、人・物・情報の交流により、生産拠点としてのさらなる活性化が図られ、未来への大きな希望であります。

また、今後、重要港湾に指定された伊万里湾の利活用とともに、川南造船所跡地の活用や伊万里湾の廃棄物処理用地の産業用地への早期の用途変更による企業誘致など大きな期待を寄せています。



I まちづくり基本計画策定にあたり

1. 地域の元気推進事業について

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大、特別警報級の豪雨の頻発といった災害の激甚化、デジタル技術の飛躍的な進歩など、わたしたちを取り巻く環境は、大きく変化しています。

また、少子高齢化や核家族化などの進行にともない、生活スタイルの変化や個人の価値観の多様化、家族形態の変化など、社会環境が大きく変化してきたことで、人と人とのつながりが希薄化し、地域で支え合う力が弱まってきていることが懸念されています。

このような中、伊万里市においては、地域の身近な課題を、地域の特性を活かし、住民自らの手で解決に導き、自主的かつ自律的な地域づくりを行うために、平成 19 年度から「地域の元気推進事業」が始まりました。

山代町においても、「ふるさとをこよなく愛し、さらに住みよい町づくりを進めるため」、平成 20 年 10 月に「元気なまちづくり運営協議会」が設置されたところです。運営協議会では、山代町の元気を創る 3 つの力として、「地域力」「元気力」「住民力」に焦点をあて、それぞれに各種団体で構成する部会を設け、取り組みを進めています。

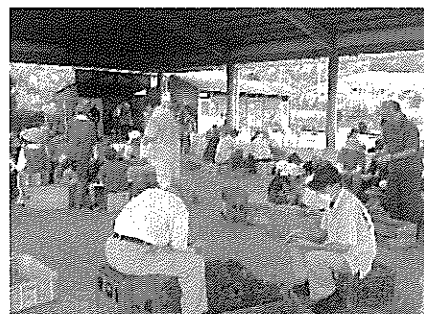
2. 山代町元気なまちづくり基本計画とは

この計画は、こうした社会情勢の変化や住民のニーズに対応するため、これまでの基本計画の取組みと課題を踏まえ、令和 6 年度（2024 年）から 5 年間で取り組むべき主要な施策や方針などを策定するものです。

3. 事業概要（山代町の特色ある取り組みについて）

① 河川浄化活動（泥だんご大作戦）

全国水環境マップ実行委員会の全国一斉調査に登録し、毎年水質調査を行い、泥と米ぬか、キトサン、微生物を練り合わせた泥だんごを町内の河川に投げ入れて、河川の水質浄化を図る取り組みです。住民の環境に対する意識の向上と河川の水質浄化のために平成 17 年から継続して実施しています。



② 地域支え合い移動支援事業（べんりカーやましろ号）

山代町の公共交通手段である、いまりんバス地域線の利用が伸び悩み、新たな地域交通を模索する中、令和3年10月、佐賀県くらしのモビリティ確保推進事業費補助金を活用し、自宅から目的地までドアトゥドアで移動を支援する「べんりカーやましろ号」の実証実験を3か月間実施しました。利用者は、主に買い物や通院などにご利用いただき、大変好評であったことから、令和4年度に伊万里市の介護予防・日常生活支援総合事業の採択を受け、協賛企業8社からの寄付金を利用して車両を1台購入し、令和4年5月27日から本格運行を開始しました。利用者は町内の方で、介護保険の認定を受けた要支援者や高齢者など、移動が困難な人です。

週3日運行でスタートした事業ですが、徐々に協力していただけるボランティアのドライバーが増え、令和5年11月からは、週5日（月～金）運行となりました。



③ 地域活性化研究会

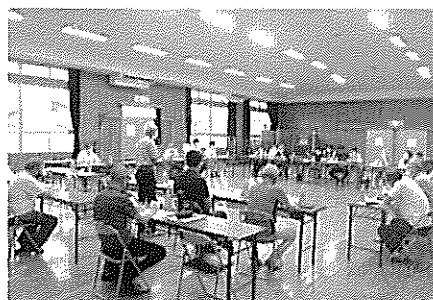
西九州自動車道や川南造船所跡地、廃棄物処理用地の活用、町内の学校の統合など諸課題について、山代町の目指すべき姿など明るいまちづくり及び地域の活性化を目指して活動しています。

なかでも、山代町の少子化や若者の流出による児童・生徒の減少は深刻な問題です。令和元年7月に学校規模適正化協議会から市教育委員会へ諮問がなされたことを受け、山代町でも学校再編について協議するため、令和3年6月に「山代の教育のあり方を考える会」が発足しました。

令和4年2月4日学校規模適正化協議会最終答申において、「山代西小学校は、児童数減少による複式学級の解消のため、山代東小学校と統合する。その後、時期をみて、山代中学校と統合する」ことになりました。

令和5年9月の山代の教育のあり方を考える会で、「開校時期は令和9年4月を目指してほしい」と教育委員会に要望を出しました。

令和5年11月24日両校保護者説明会、令和6年2月22日に町民説明会において、開校時期は令和9年4月との説明がありました。今後、令和6年度からは、部会（開校事業部会、閉校事業部会、通学事業部会）ごとに統合に向けた協議が始まります。



④ 高齢者はつらつ事業

高齢者が生きがいを感じ、元気に生活することができるよう、令和4年度から行っている事業で、毎月1回の映画上映会のほか、認知症予防にもなる健康麻雀の実施、健康維持のため頭と体を使うニュースポーツ（モルック）教室を実施しています。



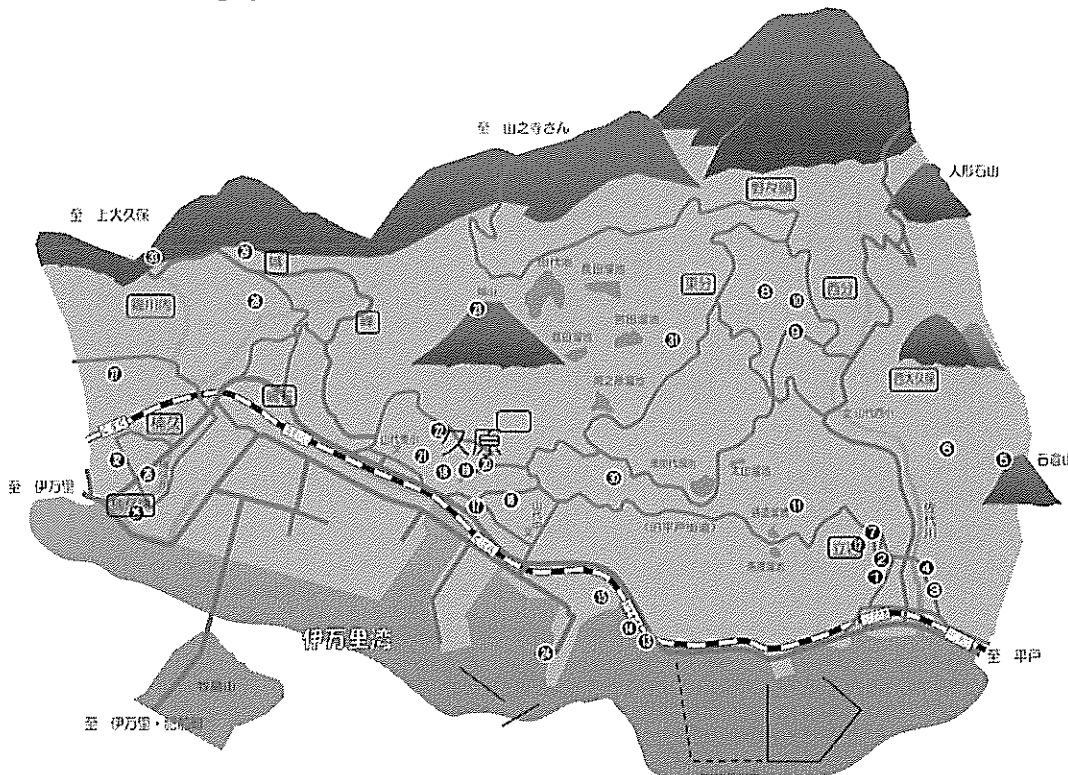
⑤ はる爛漫桜ウォーク

山代町の魅力を発信するために、浦之崎の「桜の駅まつり」の開催日に合わせて、「はる爛漫桜ウォーク」を令和5年3月から開催しています。

山代中学校をスタートし、平戸街道の史跡を巡りながら浦之崎公民館にゴールします。ゴールでは、地元産品などが当たるお楽しみ抽選会や食生活改善推進協議会による豚汁などのおもてなしを行い、町内外の人に楽しんでもらっています。



山代ふるさとマップ



No.	名 称
1	佐代船塚
2	佐代船神社
3	浦之崎番所跡
4	疫神社
5	石倉山
6	立岩洞窟
7	紙園神社
8	塩俵石
9	仁王塚(天福寺)
10	黒髪神社
11	内園屋敷跡
12	山本源二碑
13	波瀬番所跡
14	イルカの碑(種が島)
15	飯盛神社
16	大日如來
17	紙園社
18	飯盛神社
19	天神社
20	花房権現
21	八幡神社
22	モリス原坑跡
23	飯盛城跡(金比羅坊)
24	小島古墳
25	楠久番所跡
26	御船屋
27	仏持寺
28	菅宮神社
29	毘沙門さん
30	御手洗地藏
31	波多三河守清経墓
32	王拓記念碑
33	善養寺跡

Ⅱ 現状と課題

1. 山代町の今ある姿

山代町の令和6年2月1日現在の人口及び世帯数を前計画策定年の平成31年2月1日と比較してみると、人口は602人減少し、世帯数は121世帯減少しています。

その内、年少人口（0から14歳）は134人減少、生産年齢人口（15歳から64歳）は、407人減少、老年人口（65歳以上）は61人減少しました。

年齢階層別では、年少人口率は全町民の8.36%。生産年齢人口率は46.37%、老年人口率（65歳以上の高齢者の割合）は45.28%です。

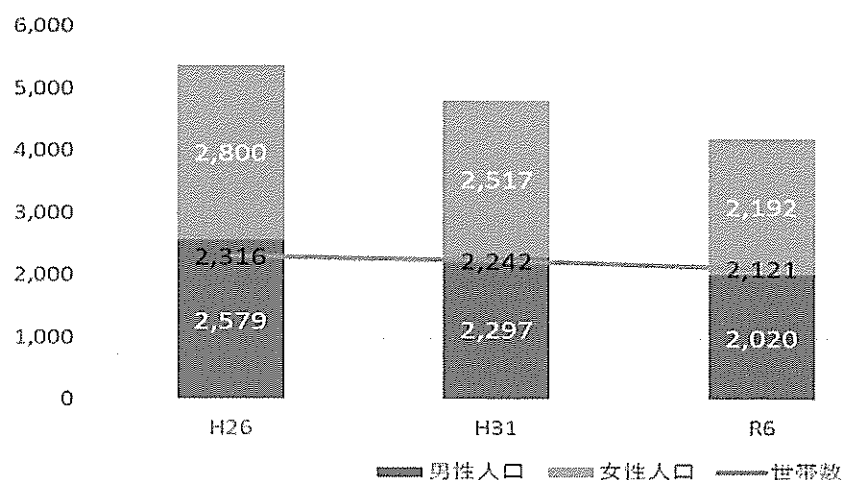
山代町は、人口減少が著しく、少子高齢化が益々進展しており、今後、地域コミュニティの維持が憂慮される状況となっています。

○山代町の人口及び世帯数の推移

（令和6年2月1日現在）

年	男性人口	女性人口	合計人口	世帯数
H26	2,579	2,800	5,379	2,316
H31	2,297	2,517	4,814	2,242
R6	2,020	2,192	4,212	2,121

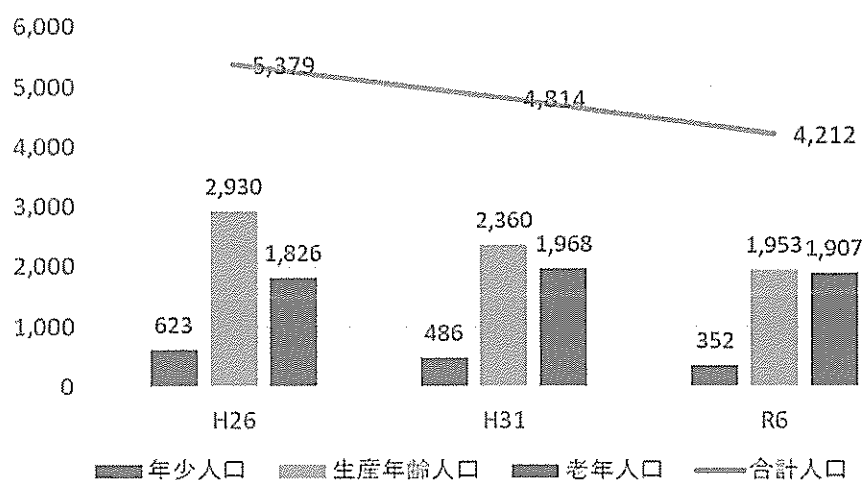
出典先：伊万里市住民基本台帳統計情報より



○山代町の年齢階層別人口の推移

（令和6年2月1日現在）

年	年少人口 (15歳未満)	生産年齢人口 (15～64歳未満)	老年人口 (65歳以上)	合計人口	年少人口率	生産年齢人口率	老年人口率
H26	623	2,930	1,826	5,379	11.58%	54.47%	33.95%
H31	486	2,360	1,968	4,814	10.10%	49.02%	40.88%
R6	352	1,953	1,907	4,212	8.36%	46.37%	45.28%



○行政区別人口

(令和6年2月1日現在)

NO	行政区名	男	女	計	世帯数	人数/世帯
1	楠久津	249	263	512	249	2.1
2	楠 久	348	380	728	362	2.0
3	福川内	53	49	102	55	1.9
4	城	58	63	121	52	2.3
5	峰	45	42	87	43	2.0
6	鳴 石	100	125	225	128	1.8
7	久原一区(3)	206	209	415	187	2.2
8	久原二区(3)	293	323	616	311	2.0
9	久原三区	91	103	194	104	1.9
10	浦之崎	109	141	250	127	2.0
11	川 南	83	108	191	119	1.6
12	向 山	85	86	171	103	1.7
13	立 岩	88	95	183	84	2.2
14	西 分	113	113	226	100	2.3
15	西大久保	26	23	49	28	1.8
16	野々頭	26	31	57	25	2.3
17	東 分	47	38	85	44	1.9
計	計	2,020	2,192	4,212	2,121	2.0
—	15歳以下	194	192	386	—	—
—	65歳以上	810	1,097	1,907	—	—
—	75歳以上	384	651	1,035	—	—

出典先：伊万里市住民基本台帳統計情報より

○小中学校の学年別児童生徒数

(令和6年3月1日現在)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合 計
山代東小学校	18	16	15	14	17	23	103
山代西小学校	5	2	10	4	8	5	34
山代中学校	25	38	35				98

Ⅲ これからの山代町

1. 基本理念～将来の町のすがた～

人がいきいきと活躍する幸せ実感のまち山代町

2. まちづくりの基本構想

理念に基づく、まちづくりの為に山代町元気なまちづくり運営協議会の3つの部会ごとに目標を定めました。

地 域 力

(1) 地域がにぎわい、活力があるまちづくり

(地域まちづくり部会)

「住む人の笑顔が集まるコミュニティセンター」で心のふれあうまちづくりを行います。また「伊万里湾の利活用と企業との連携」により活力あるまちづくりに取り組みます。

元 気 力

(2) 明るく元気な山代っ子がすくすく育つまちづくり

(子ども育成・スポーツ部会)

地域において、「地域の子どもは地域で育てる」という考え方のもと、家庭、地域、学校などの多様な主体と連携し、積極的な地域交流を進め、子どもたちが生きる力・学ぶ力・コミュニケーション力を育つまちづくりを目指します。

住 民 力

(3) 住民パワーでみんなが支え合う安全・安心なまちづくり

(健康づくり・安全環境部会)

地域のつながりと協力で防災・防犯・交通安全・環境保全の活動に取り組み、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指します。

3. 基本計画各論

(1) 地域がにぎわい、活力があるまちづくり

公民館活動、歴史・文化保存活動

1) 現状と課題

【人口減少】

山代町の人口は、この5年で602人減少しています。自然減のほか、若者の晩婚化、少子化、若者世代がふるさとから流出していることも一因として考えられます。

人口減少は、核家族、地域コミュニティの希薄化、家業・農業の担い手不足、地域環境の整備や地域行事の担い手・参加者不足、空き家の増加など多岐に影響を及ぼしています。さらに、近い将来限界集落化することが危惧される地区が出ることも憂慮されます。

農業の担い手不足も深刻です。荒れた農地が増え、狩猟経験者が減少していることからイノシシ被害が拡大しています。

【組織の弱体化】

住民の高齢化、意識の変化により役員のなり手がいない、若者が地域行事に参加しないなど組織体制のあり方が問われています。また、近年は災害が激甚化しているため、地域リーダーの育成及び住民の防災意識の向上が特に求められています。

【伝統芸能等の伝承】

コロナ禍前の平成31年まで、山代町には楠久・城・久原・浦ノ崎、立岩地区に浮立が、久原には大念仏の伝統芸能が伝承されていました。また、楠久津では、地域の特色を活かした鯛まつりが行われ、久原ではサマーフェスタ、浦ノ崎では桜の駅まつりが行われてきました。

しかし、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行した後、地域の行事が本格再開される中で、住民の意識の変化や担い手不足により、久原のサマーフェスタは中止となりました。

特に地域の伝統芸能等は、地域コミュニティに大きな役割を果たしていることから、伝統芸能等が始まった由来や意味を若者に伝え、存続を図りながら地域活性化に活かすことが求められています。

2) 基本方針

- ・若者が参加したくなる行事をつくります。
- ・学校などで、ふるさとの企業をもっと知ってもらう取り組みを進めます。
- ・まちづくりは人づくりであり、まちづくりリーダーの発掘と育成、研修会を実施します。

- ・地域が疲弊しないような取り組みを検討します。山代町のために役に立ちたいと思っている人を集め、住民が協力して助け合う地域づくりを進めます。
- ・地域の伝統行事や歴史など山代町の魅力を情報発信します。
- ・子どもに山代町の歴史と文化を教え、山代町民としての誇りと郷土愛を育みます。
- ・多文化共生への理解を深めるため、町内に暮らす外国人との交流の機会を創出します。

まちづくり、企業との連携

1) 現状と課題

【伊万里湾岸の活用】

山代町浦之崎の有望な土地を活かした伊万里湾岸の活用について、地域の活性化のためには、一日でも早い開発が求められています。

【西九州自動車道】

西九州自動車道については、伊万里松浦道路の久原 IC から松浦 IC（松浦市）間が平成27年3月14日に開通していることから、楠久 IC から久原 IC 間についても、早期開通を実現するための取り組みが必要です。

【伊万里松浦病院跡地】

令和2年11月に浦之崎地区の伊万里松浦病院が浦之崎から松浦市に移転しました。跡地の有効活用について市及び関係機関に働きかけていくことが必要です。

【山代コミュニティセンター】

山代コミュニティセンター及び別館（旧老人憩の家）は、建設後40年以上経過し老朽化しているとともに、誰もが利用しやすい、バリアフリー仕様にはなっていません。もとより、山代コミュニティセンターは、場所的にもわかりにくく、周辺の道路環境も不便な場所に建設されているため、みんなが利用しやすい場所に複合的な施設として整備を図るよう、取り組んでいく必要があります。

【公園の整備】

住民の憩いの場所、子どもが遊べる場所が少ないため、公園の整備が求められています。

2) 基本方針

- ・浦之崎の川南造船所跡地については、有識者等による浦之崎地区公園整備検討委員会から、浦之崎地区における公園整備に関する提言がなされており、公園整備も含めて総合的に考え、地元として伊万里市や関係機関へ働きかけを行います。
- ・浦之崎地区は、工業団地として可能性が広がる県内でも唯一の伊万里湾の浚渫土の埋め立て用地である広大な「廃棄物処理用地」を擁しています。将来に向けて、

産業用地への用途変更のほか、企業誘致等による地域活性化を図る活動を継続して行います。

- ・旧伊万里松浦病院跡地の有効活用については、処分に係る要望活動を行うとともに敷地内には、佐代姫伝説の佐代姫塚があり、また、隣接地には佐代姫神社があることから桜の植樹を行うなど、これらを活かした提案活動を行います。

(2) 明るく元気な山代っ子がすくすく育つまちづくり

スポーツの振興・体力づくり

1) 現状と課題

スポーツ協会が、町民スポーツ祭、グラウンドゴルフ、バレーボール、ミニバレーボール、野球、ソフトボール、卓球等の大会を主催しているほか、子ども会が、ドッチビー大会、駅伝大会、卓球大会を開催しており、それぞれの年齢にあった方法で、体力づくりに取り組んでいます。

しかしながら、人口の減少、少子高齢化に伴い選手確保が困難な地区がでてきています。

2) 基本方針

より多くの町民がスポーツを楽しみ、競技を通じて親睦を深めていけるように、各種団体と協議しながら、要項（競技内容）の見直しやチーム編成のあり方を検討します。

青少年健全育成・教育

1) 現状と課題

小・中学生の数は、この5年で109人減少しています。少子化はもとより、町外の中学校へ通う生徒がいることも一因としてあります。

子どもが減ると地域行事の開催が難しくなるほか、学校でも部活動が成り立たなくなります。また、子ども達のコミュニケーション能力の低下が懸念されることから、地域・学校・家庭が連携し、地域の宝である子ども達を町民総ぐるみで、元気な山代っ子に育てる必要があります。

2) 基本方針

- ・町内で活動しているスポーツクラブ等の活動の現状を把握し、部活動の地域移行に積極的に協力します。
- ・チャレンジひろばを充実、発展させて、親子で楽しく参加し、地域での居場所づ

くりと地域・家庭の絆を深める活動を推進します。

- ・家族のコミュニケーションの機会を創出し、家族の絆をより深めるため、コミュニティセンターの読書環境を整備して、家読（うちどく）を推進します。
- ・三世代交流事業でニュースポーツ（モルック）大会を行い、子ども達が地域の大人と交流することでコミュニケーション能力を養います。
- ・ミニ門松づくりを通して、門松に込められた意味や地域文化に対する理解を深めてもらうことで、子ども達の郷土愛を育てます。



球技大会



チャレンジひろば



ミニ門松づくり

（３）住民パワーでみんなが支え合う安全・安心なまちづくり

社会福祉・交通対策

１）現状と課題

【高齢化】

山代町の高齢化率は、45.28%と市内でも２番目に高い率となっており、75歳以上の高齢者は1,035人です。人口減少・少子高齢化の中で、高齢者のみの世帯が増加しています。老々介護や家庭内の軽作業等が困難になるなど住み慣れた地域での生活の維持が課題となっています。

高齢者が孤独に陥らず、気安く話せる仲間をもち、安心して生活が続けられるように、「高齢者の居場所」を地域につくっていくことが必要です。

【交通コミュニティ】

山代町では、海沿いに松浦鉄道、西肥バスが運行していますが、山間地における地域交通機関がないため、伊万里市のコミュニティバスである「いまりんバス」地域線が運行しています。令和４年１０月からは、利用者を増やすため運行ルートの見直しが行われ、結果として利用者数は徐々に増加をしてくれています。

令和２年４月に伊万里松浦病院が松浦市へ移転し、令和３年９月にはＡコープ浦ノ崎店が閉店しました。高齢者等の交通弱者の足の確保や買い物支援は特に重要な課題です。

2) 基本方針

- ・令和5年10月から山代コミュニティセンターに配置している「集落支援員」を核として、地域の困りごとを地域で解決する(共助の)仕組みづくりを構築します。
- ・地域住民のふれあい、健康づくり、元気づくり、仲間づくりを支えるため、各地区に高齢者が集える場所(サロン)を拡充します。
- ・民生委員・児童委員協議会で「ふれあい給食(ヤクルトや弁当の配布)」に引き続き取り組み、自宅で暮らす一人暮らしの高齢者の見守り活動を行います。
- ・移動手段を持たない高齢者の通院や買い物を支援するため、「べんりカーやましろ号」の更なる周知を図り、利用促進を図ります。

防災

1) 現状と課題

近年の豪雨災害等の防災に対する意識は、防災訓練等によって高まってきてはいますが、災害時等の高齢者等の避難支援などをスムーズに行うためには、日頃からの見守りや声かけなど、顔の見える関係づくりが大切です。さらに防災会や各団体のネットワーク(連携、調整)の構築やリーダーの養成が必要です。

2) 基本方針

- ・避難行動要支援者の把握に努め、日頃から顔の見える近所づきあいを行う等のコミュニケーションを図ります。
- ・道路、河川や地域の「ひやりはっと」箇所等の点検を行い、危険箇所等の情報共有に努めます。
- ・防災意識の向上のため、防災研修会を開催します。

防犯

1) 現状と課題

近年、巧妙化する詐欺被害が後を絶ちません。子どもや高齢者などを犯罪から守るためには地域社会・学校・家庭が一体となって情報の共有や啓発活動に取り組む必要があります。

2) 基本方針

- ・各地区で、生徒児童の登下校時の見守り活動や散歩等に合わせて防犯パトロールを引き続き実施します。
- ・巧妙化する詐欺被害についての防犯研修会や啓発活動を行います。

環境保全

1) 現状と課題

地域の環境は自分たちで守るため、小島公園の除草作業、泥だんご大作戦で町内の河川浄化活動を行っています。

また、令和6年度からは、伊万里市からの受託事業で久原～野々頭線、久原～立岩線の2路線について住民による草刈り業務を行います。

環境保全活動はボランティアです。山代町のために役に立ちたいと思っている人を集め、無理せず続けていただける体制にすることが重要です。

2) 基本方針

- ・保育園児から高齢者まで三世代で行っている泥だんご大作戦及び小島公園の除草作業を継続して実施し、環境保全に対する町民のなお一層の意識向上を図ります。
- ・「地域のことは地域でやる」を合言葉に、登録住民ボランティアによる市道草刈り業務に取り組みます。
- ・平成14年7月より実施してきた塩生植物保存会の活動は、ここ数年休止状態であったため、今後の活動のあり方を検討します。



やましろサロン



防災研修会



泥だんご大作戦

この計画は、これまで取り組んできた山代町元気なまちづくり事業を総括し、各地区が抱えている課題や山代町が抱える課題・状況を再認識し、その課題の解決のためには「何をすべきか」「何ができるのか」「何をしなければならないのか」をまとめたものです。

今後は、この基本計画に沿って、「地域力」「元気力」「住民力」の3つの力を柱として、各種団体と具体的な取り組みについて協議し実施をします。そして、地域住民の1人でも多くの参加をお願いしながら『山代町の元気なまちづくり』を目指します。

山代町元氣なまちづくり運営協議会

新時代を拓く
元氣な山代町

まちづくりを考える団体

山代町を作る「3つの」力

地域力！

「地域がにぎわい活きあるまちづくり事業」

元氣力！

子ども育成・スポーツ部会

「明るく元氣な山代っ子がすぐ育つまちづくり事業」

住民力！

健康づくり・安全環境部会

「住民パワーでみんなが支え合う安全・安心のまちづくり事業」

山代町元氣なまち
づくり運営協議会

役員会

各種団体
山代町区長会 山代町自治公民館長会 やましろ塾実行委員会 山代まつり実行委員会 山代町人権・同和教育推進協議会 山代町明るい選挙推進協議会 山代町史編集委員会

山代町明るい町づくり推進協議会 山代町開発促進協議会 山代町西九州自動車道建設促進協議会 西の谷協議会 久原工業クラブ

山代町スポーツ協会 スポーツ少年団 ジュニアスポーツクラブ

山代町青少年育成町民会議 山代町子ども会連合会 山代町地域子ども教室推進委員会 (山東チャレンジひろば) 山代中学校PTA 山代東小学校PTA 山代西小学校育友会 橋久保育園、鳴石保育園育友会 久原保育園、さくら保育園育友会
--

山代町長寿会 山代町女性部会 山代町生活改善推進協議会 山代町民生・児童委員会 山代町福祉活動員委員会 山代地区社会福祉協議会
--

山代町防犯協会 山代町地区防犯会 山代町交通安全協議会 伊万里市交通安全協会 山代支部 山代町地域安全パトロール隊 伊万里市消防団 山代分団 山代警察官駐在所 橋久・浦之崎駐在所 山代西緑の少年団
--

活動（実施内容）
各自治公民館活動 山代まつり やましろ塾、門松づくり 人権同和巡回講座 町史編集、館報発行 伝統芸能文化の保存伝承

川南造船所跡地公園整備計画 西九州自動車道の早期実現 伊万里団地道路拡幅実現 伊万里団地企業体組織づくり 山代町西部地区開発 浦之崎開発エリアの早期実現

町民スポーツ祭、町民球技大会 町民バレーボール大会等各種大会 スポーツ少年団 ジュニアスポーツクラブ

町青少年健全育成大会 子ども会各種スポーツ大会 小・中学校PTA活動 各保育園活動との連携 子育て支援事業 「家読」の推進 「読み聞かせ」活動・推進
--

町長寿会活動 町女性部会活動 町民児協活動 ふれあい給食 ふれあい・いきいきサロン事業 移動支援（べんりカー）事業 敬老会の開催 食育活動
--

地域安全パトロール 交通パレード 消防団活動 植生植物保存活動と環境教育 山代緑の少年団活動 泥だんご大作戦と環境教育
--

佳お人の
宝鑑
群芳図

三才図會

